

長かった2学期も今日で終了です。どの学年も、学習や行事の中で成長する姿をたくさん見せてくれました。その一つに立川市児童会サミットの取組もあります。代表の6年生は、サミットで考えたことや感想を朝会で堂々と発表してくれました。今後の九小や立川市について子供たちが考えるよいきっかけになることと思います。

<朝会で話した主な内容> テーマ：「立川市児童会サミットによせて」

12月8日の土曜日に、立川市小学生児童会サミットがありました。市内の小学生の代表が集まって、学校や立川市の問題について話し合いをします。九小からは、6年生の中橋君、堂谷君が参加しました。

初めに、2020東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた学校の取組を順番に報告し、次にSNS等の使用について、最後に自分たちが大人になったとき、立川市をどんなまちにしたいかグループで話し合いました。教育長から、3つの問いは、中学生サミットと同じテーマで難しいけれど挑戦してほしいこと、見ざる、聞かざる、言わざるという言葉があるが、ぜひ見て、聞いて、話し合ってもらいたいとのメッセージが伝えられました。その言葉通り、一人一人が調べたり考えたりしたことを出し合い、真剣に話し合う姿がとても立派でした。

2020東京オリンピックは、2020年7月24日、あと592日で開催します。私たちの住む東京に、世界中から素晴らしいスポーツ選手が集まり、世界最大の「スポーツの祭典」、「文化の祭典」が開催される大変記念すべきことです。すべての人が自己ベストを目指し、一人一人が互いを認め合い、未来につなげようという3つを大会の柱にし、すべての日本人が、世界中の人々を最高の「おもてなし」で歓迎しようという考えも伝えられています。各学年でオリンピック・パラリンピックの精神、日本や世界の文化、様々な競技などについて学習しているところですが、ぜひいろいろな学年の取組を見えるようにして、2020東京大会を盛り上げてほしいと思います。

児童会サミットを経験した中橋君、堂谷君から、感想や考えたことを発表していただきますので、これからの九小の取組に活かしてください。そして皆さんも、自分の目で見て、聞いて、誰もが考えを人に伝え、話し合うことを大切にしてほしいと思います。

<感想>

- 1 オリンピック・パラリンピックがあるので、バリアフリーなどのいろいろな取組をしてみたいと思いました。そして、2020年に向けて、障がいがある人を助けたいです。
- 2 今は、オリンピックに向けて建物を建設中です。ぼくは、今学校で、アルティメットをやっています。いつかアルティメットがオリンピック競技になったら、選手になってオリンピックで活躍してみたいです。
- 3 東京オリンピックに向けて、もっと環境をきれいにしようと思いました。理由は、学校の通学路などにいろんなゴミがあります。でも、それを世界の選手が見たらと思うと、やっぱりもっと環境をよくした方がいいと思ったからです。
- 4 2020東京オリンピックで、どの種目でもいいから見てみたいと思いました。ぼくの好きなサッカーや陸上は見たいけど、どの種目も世界のトップの人がやるので、知らないスポーツでも楽しく観戦できます。また、そのスポーツが好きになれるかもしれません。また、外国との文化の違いが分かるかもしれません。
- 5 未来の立川市は、みんなが心温かい市になると思います。また、なつてほしいと思います。そうすることによって、東京オリンピック・パラリンピックに来る外国人などの人も嬉しいし、自分もできたらいいなと思うからです。
- 6 未来の学校のことなどを、学校の代表が話し合うのはとても大切なことだと思います。また、東京2020オリンピックなどの取組について他の学校に話し、聞いて、いろいろな学校のことを知ることができてとてもいいと思います。東京でオリンピックをするから見に行きたいです。
- 7 オリンピックは4年に1度の大きな舞台で、世界中の人が日本の東京に来るので、ぼくたちは外国の人におもてなしをしたいです。ぼくはオリンピックを見たいと思います。
- 8 立川は未来に向けて伝統を守りつつも、東京五輪で来る観光客を立川に招待できればなと思いました。
- 9 思ったことがあります。それは、将来の立川のことです。誰でも楽しく暮らせるようなところになっていると思います。今でもすごくいいところだけど、今以上にいいところにするために、今自分ができていることを全力で取り組みたいです。